

令和5年度 第1回

さいたま市都市交通戦略推進委員会

議 事 要 旨

- 日 時 : 令和6年1月23日(火) 15:00~16:30
- 場 所 : 武蔵浦和コミュニティセンター 8F 第7集会室
- 配付資料
 - ・次第
 - ・出席者名簿・席次表
 - ・資料1 さいたま市都市交通戦略の概要
 - ・資料2 令和4年度の施策実施状況と評価指標に関する整理
 - ・資料3 総合都市交通体系マスタープランについて
 - ・資料4 インターネットアンケート調査結果
 - ・参考資料1 さいたま市都市交通戦略推進委員会設置要綱
 - ・参考資料2 都市交通戦略の推進状況のとりまとめ及び効果の分析

- 出席者名
 - ・埼玉大学大学院准教授 小嶋 文
 - ・さいたま市障害者協議会 会 長 中野 勇
 - ・さいたま市交通安全保護者の会(母の会) 会 長 家崎 清子
 - ・東日本旅客鉄道(株)大宮支社 経営戦略ユニット 企画調整課 課 長 渡邊 大輔
 - ・(一社)埼玉県バス協会 専務理事 関根 肇
 - ・(一社)埼玉県乗用自動車協会 事務局長 藤田 貢
 - ・埼玉県警察本部 交通部 交通規制課 課長 風間 康男
(代理:佐々木 一郎)
 - ・さいたま市 建設局 都心整備部 部 長 中島 栄一
 - ・さいたま市 建設局 土木部 部 長 高橋 良久
 - ・さいたま市 都市局 都市計画部 部 長 本多 建雄

1. 開会

【事務局】(司会)

1-1 会議の公開について

会議は公開とすることで、出席者全員一致で了承。

2. 議題

2-1 さいたま市都市交通戦略に関する施策の実施状況と評価について

事務局から、資料 1「さいたま市都市交通戦略の概要」、資料 2「令和4年度の施策実施状況と評価指標に関する整理」を説明。

【佐々木代理委員】

- ・ 資料 2 の 3 ページ 2-1-1 にて、2000 人の方にアンケートを取られたということですが、年齢の分布等があれば教えていただけますでしょうか。シェアサイクルの利用率が増加しているのです、そのようなデータをお持ちでしたら伺いたいです。

【事務局】

- ・ インターネットアンケート調査の結果につきましては、後ほど説明させていただく資料 4 に記載されております。
- ・ シェアサイクルに関して、年代別に分析というのには行っていませんが、回答者の属性は把握しているため分析することは可能です。

【渡邊委員】

- ・ インターネットアンケート調査の満足度に関して、目指している数値があれば教えていただきたいです。

【事務局】

- ・ 満足度に関して明確な数値というのとは決めておりませんが、経年でアンケートを取っているため、満足度の評価が上がっていくことが目標であります。

2-2 総合都市交通体系マスタープランについて

事務局から、資料 3「総合都市交通体系マスタープランについて」を説明。

【小嶋委員長】

- ・ さいたま市で、ペダルを漕がない特定小型原付の「電動サイクル」のシェアリングサービスが開始されることに関して、安全性や利便性についての検討状況について教えていただきたいです。

【事務局】

- ・ さいたま市の職員を対象としたアンケートを取りまして、市内の交通の課題としてどのようなことが挙げられるのか不便に感じている点というのをアンケートしました。
- ・ さいたま市の様々な窓口で交通に関する意見というのをいただいていると思うので、実際にどのような意見があるのかというのもアンケートとして伺っています。
- ・ また、国土交通省の共創事業でも交通×福祉・教育といったような、交通と連携して行っていく流れがあるため、さいたま市でもそのようなニーズがあるのかを全庁的にアンケートしました。

【小嶋委員長】

- ・ 事務局では、市民参加で今後検討していることはありますか。

【事務局】

- ・ 市民参加の点では、市民ワークショップの開催を予定しております。
- ・ 開催にあたって、若い世代に参加して頂きたいということで、市立高校や、さいたま市の大学コンソーシアムを結んでいる学生さんに周知を図りながら、若年層の意見を頂きたいと考えております。

【渡邊委員】

- ・ R5 年度に未来像の検討が完了するということですが、このあたりの情報を教えてくださいいただけますか。

【事務局】

- ・ 現時点で具体的な未来像をお示しできるものはございませんが、ワークショップ等で未来像をお伺いして形としてお示ししていく。また、その際に作った未来像が確定ではなく、その未来像を市民の方に意見を頂戴してブラッシュアップしていくよ

うな進め方をしていく。

2-3 インターネットアンケート調査結果について

事務局から、資料4「インターネットアンケート調査結果について」を説明。

【藤田委員】

- ・ 乗合タクシーの認知度について H30 と比べて 0.1%の増加にとどまっていることについて分かることがあれば教えてください。
- ・ さいたま市の場合、収支率 40%を目標にしているため、認知度を上げることが必要であると考えます。

【事務局】

- ・ この結果から我々も至らない点があったため、反省をしています。知っていただかないことには乗る機会もないため、周知活動をこれから増やしていくように引き続き取り組んでいきます。

【中野委員】

- ・ 南区の美園地区での区画整理の現状についてわかる範囲で教えていただきたいです。

【事務局】

- ・ 所管課に確認をしたうえで次回以降の宿題にさせていただきたい。

【中野委員】

- ・ 岩槻～蓮田間を結ぶ路線バスが廃止になり、乗合タクシーに代わるということで、その進捗状況について教えていただきたいです。

【事務局】

- ・ 令和6年3月末をもって岩槻～蓮田間を結ぶ路線バスが廃止になりますが、さいたま市では交通空白地域になった場合の補完交通として、乗合タクシー・コミュニティバスの選択肢を用意しております。
- ・ 今回は、既存の路線バスが運転手不足での廃止となるため、残された選択肢の中から、乗り合いタクシーの導入に向けて地域と取り組んできました。
- ・ 関係者の方の協力があり、乗り合いタクシーの運行ができる準備が整いつつあります。

【佐々木代理委員】

- ・ アンケートの回答者数を増やすことで、27 ページの乗合タクシー・コミュニティバスの認知度のグラフのように誤差が生じてしまうものなのでしょうか。

【事務局】

- ・ アンケートの回答者の数が増えることで正確性が上がると認識はしています。
- ・ 一方で、15%程認知度が下がっていることは、統計的な誤差の範囲を超えていると考えられます。

【小嶋委員長】

- ・ さいたま市で、ペダルを漕がない「特定小型原付」のシェアリングサービスが開始されることに関して、安全性や利便性について教えていただきたいです。

【事務局】

- ・ さいたま市では、特定小型原付について2月からサービス開始となります。
- ・ ポートに関して既存のものを使えるが、充電についての課題があるため、事業者と協議を進めています。
- ・ 現在は実証実験ではありますが、安全性、耐久性、利便性や採算性を考慮した上で、社会実装していきたいと考えております。

3. その他

(質問・意見等は、特になし)

4. 閉会

【事務局】(司会)